



# こんな事業に使われます!!



Tafuku

福祉企業センターは、障がい等の理由で一般就労が困難な方や生活困窮者の方に就労の機会を提供して、自立支援施設として永らく運営してきましたが老朽化が進み、令和8年度より縦の木福祉会に業務委託します。

ドア・ツー・ドア型で開始された「ながわごん」は概ねその目的は達成されていると思われまます。運行時間の制限は、ライドシェアで、課題である乗車人数増加は最適配車計画(AI)の作成で、解決できないうでしょうか？



障がい者等福祉施設整備  
事業補助金

1億2,206万2千円

(福)縦の木福祉会の子学園共同の敷地内に新たに施設を建設し、建設費用について町と法人が按分し負担することになりました。建設費の内、生活介護事業分は起債(過疎債)及び交付税措置の対象となります。



Watanabe

町内巡回バス運行委託事業  
巡回バス「ながわごん」運行委託

6,089万4千円

地域連携ICカード導入事業

685万3千円

ながわごんのフルデマンド運行を引き続き行い、利便性と運行効率向上を図ります。また、長野県が導入を推進している地域連携ICカード導入事業を実施してキャッシュレス化を行い、併せて利便性の向上を図ります。



たかやまスキー場管理事業

1億4,776万5千円

需用費(修繕費) 1,033万7千円

工事請負費 1億2,750万円

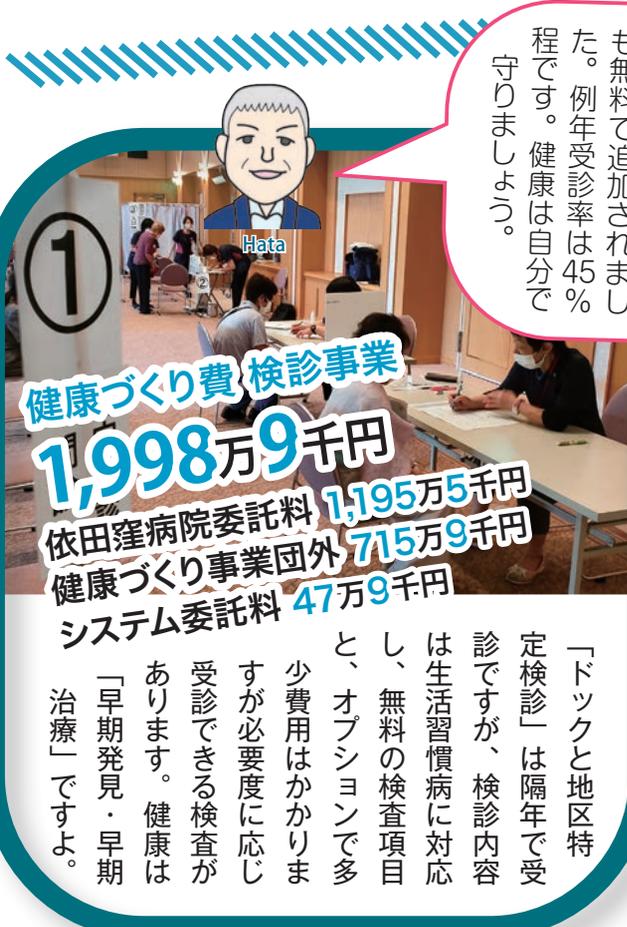
備品購入費 700万円

工事請負費は安  
全確保のためにクワッドリフトの駆動部分を更新するもの。  
需用費は圧雪車他の修繕、スノーボード解禁に向けて必要な備品を購入します。これらの事業に辺地対策事業債1億2700万円を充てます。

クワッドリフトの駆動部分の更新工事には、従前より計画していたものです。また、来期よりのスノーボード解禁を控え、ボードに対応するための防護ネットの設置や看板の整備を行います。

令和7年度  
予算

# 令和7年度 私たちのお金は



① **健康づくり費 検診事業**  
**1,998万9千円**  
 依田窪病院委託料 **1,195万5千円**  
 健康づくり事業団外 **715万9千円**  
 システム委託料 **47万9千円**

「ドックと地区特定検診」は隔年で受診ですが、検診内容は生活習慣病に対応し、無料の検査項目と、オプションで多少費用はかかりますが必要に応じて受診できる検査があります。健康は「早期発見・早期治療」ですよ。

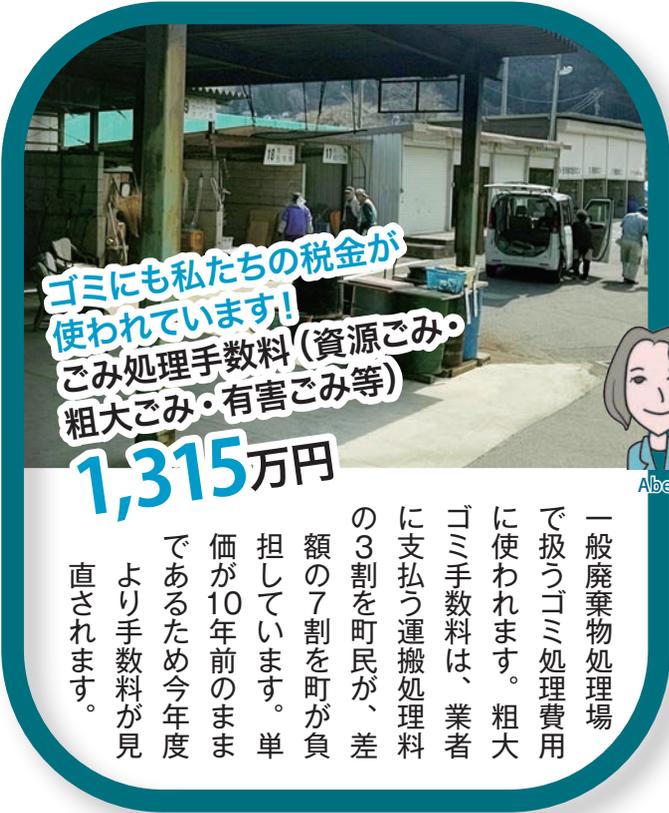
「人間ドック」約1万6千円。「地区特定検診」約1万円のお金が町から受診者に補助金として出ています。今年から「血管年齢測定」も無料で追加されました。例年受診率は45%程です。健康は自分で守りましょう。

最近の異常気象に起因して増える災害や火災に対して備える消防費として計上されました。町民の生命、財産を守るための予算です。町民の皆様にも日頃から防災の意識を持ち、行政と協働して頂きたいと思います。



**消防費総額**  
**2億5,828万千円**  
 常備消防費 **1億7,355万2千円**  
 非常備消防費 **4,517万円**  
 消防施設費 **198万2千円**  
 防災対策費 **3,757万6千円**

常備消防費は上田地域広域連合本部費負担金、長和町消防団229名の活動を支える非常備消防費、施設費では防火水槽看板5箇所の更新に94万円、防災対策費は県防災行政無線更新工事負担金2千万円が主な支出。



**ゴミにも私たちの税金が使われています!**  
 ごみ処理手数料(資源ごみ・粗大ごみ・有害ごみ等)  
**1,315万円**

一般廃棄物処理場で扱うゴミ処理費用に使われます。粗大ゴミ手数料は、業者に支払う運搬処理料の3割を町民が、差額の7割を町が負担しています。単価が10年前のままであるため今年度より手数料が見直されます。

日々の暮らしから出たゴミのその後についてなかなか考えられない機会がありませんが、ゴミ処理にかかるお金「いつかはそれがゴミになる」ことを意識して日頃の買い物をしていきたいですね。

ふるさと納税の成功自治体は、人気返礼品があり知名度が高いのが特徴です。令和7年度は地域おこし協力隊や専属の職員を配置して重点施策として取り組めます。企業版ふるさと納税も含め積極的取組を要望。



Sato

ふるさと納税で  
& 長和町を元気に!!  
NAGAWAMA

ふるさと納税基金に2,100万円!  
ふるさと納税運営費  
3,419万円

厳しい財政運営の中で、ふるさと納税返礼品によるPR効果や宿泊補助、体験メニュー等、来町に繋がる返礼品の経済波及効果や歳入が伸びる可能性を秘めています。鋭意取り組むべき重点施策として位置づけます。

上田市・東御市と共同で実施。青木村は見送り、土地面積の少ない坂城町は目視で確認。長和町は令和4年に716万円で空撮を実施しましたが、当初予算は915万円。農地や空き家対策への利活用を望みます。



Tatsuno



農地や防災にも写真情報を活用!  
航空写真共同撮影負担金  
1,314万1千円

土地や建造物等の固定資産税や公図・林班図、森林簿等の資料作成のためにより精度の高い写真が要求され、画素寸法・資格・撮影後の検定等を考えヘリコプターでの撮影を実施。費用は参加市町村の面積割です。

行政に携わる「人」に掛かる費用

特別職人件費 4,341万2千円  
正規職員 7億5,684万1千円  
会計年度任用職員 2億9,199万5千円  
包括業務委託 1億9,229万9千円

12億8,454万7千円

町長などの特別職3名の人件費、長和町正規職員95名と1年毎の契約で勤める会計年度任用職員130名の人件費、役場の窓口や作業など業務委託で働く(株)共立ソリューションズ勤務の76名に充てる委託料です。

職員等合計304名の人に掛かる費用の合計は12億円余となります。また、議会議員10名の報酬手当は3159万3千円です。歳入の内、町民税・固定資産税などの町税は7億1934万4千円、町債は3億7680万円を見込みます。

# 令和7年度 予算

**一般会計 60億7,800万円**

令和7年度一般会計・特別会計予算を可決しました！  
**町のお金はどんな事業に使われる？**

**特別会計 21億8,310万円**

**令和7年度  
 予算**

**令和7年度 長和町会計別予算額**

会 計 名	7年度予算額	6年度予算額	増減額
一般会計	60億7,800万円	59億7,300万円	1億500万円
国民健康保険特別会計	8億5,900万円	7億8,000万円	7,900万円
国民健康保険歯科診療所事業特別会計	1,000万円	1,500万円	△500万円
後期高齢者医療特別会計	1億1,070万円	9,520万円	1,550万円
介護保険特別会計	11億200万円	11億900万円	△700万円
同和地区住宅新築資金等貸付特別会計	740万円	710万円	30万円
観光施設事業特別会計	9,400万円	9,260万円	140万円
特別会計合計	21億8,310万円	20億9,890万円	8,420万円
合 計	82億6,110万円	80億7,190万円	1億8,920万円

**令和7年度 上水道事業会計予算額**

科 目	金 額	内 容
収益的収支	事業収益	2億5,461万円 給水収益 1億3,991万円, 他会計補助金 3,080万円 他
	事業費用	3億797万円 減価償却費 1億5,381万円, 支払利息等 1,638万円 他
注) 収益的収支とは、水道料金などの収入と、運営に必要な維持管理費、減価償却費などの支出を表します。		
資本的収支	資本的収入	4,498万円 他会計補助金 4,408万円 他
	資本的支出	8,714万円 建設改良費 254万円, 企業債償還金 8,359万円 他
注) 資本的収支とは、施設の建設や更新に関する投資的な収入と支出を表します。		

**令和7年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計予算額**

科 目	金 額	内 容
収益的収支	事業収益	4億4,842万円 下水道使用料 1億197万円, 補助金 1億982万円 他
	事業費用	4億5,926万円 減価償却費 3億1,199万円, 支払利息等 1,481万円 他
資本的収支	資本的収入	2億344万円 企業債 1億500万円, 補助金 984万円 他
	資本的支出	3億4,225万円 建設改良費 6,636万円, 企業債償還金 2億7,489万円 他

# 令和7年度 一般会計 予算

# 予算特別委員会 で審査！

## 令和7年度一般会計予算審査報告



渡辺 予算特別委員長

令和7年度長和町一般会計予算について、予算特別委員会を設置し、3月12日(水)・13日(木)の2日間に渡り審査を行いました。活発な質疑の後、討論・採決を行い、予算案は可決すべきものと決定されました。以下に審査の内容を抜粋して掲載します。

■ 予算特別委員会は、議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長に選出、順次審査を行いました。

### 依田窪病院施設等整備事業

5,670万円

X線テレビ・エレベーター・空調を更新  
全額過疎債を借入れ充当

問 過疎債を使った依田窪病院施設等整備事業負担金は今後も行っていく予定か。

答 病院施設整備費用や医療機器購入費について、その1/2かつ市町で按分した町負担分を、今後も過疎債を充てて負担していく予定である。



「X線テレビ装置」を更新

会計から  
水道事業  
業会計へ  
繰入れ、  
水道事業  
業会計不  
足分を補  
填する。

### 上水道事業会計への操出金

7,488万円

元利償還分6338万円  
滝ノ沢水道整備事業

《説明》 上水道事業におけるこれまでの企業債(借入金)元利償還金と今年度事業分の一部を一般会計から

### 国際交流事業

271万2千円

実行委員会負担金120万円  
基金積立金など

問 国際交流事業では7年度はガバメント・クラウド・ファンディングの予定はあるか。また、いつから始めるのか。

答 7年度も予定している。募集期間が3ヶ月に限定されているので、黒耀石大使第6期生を募集する夏頃に併せてキャンペーンを行いたいと考えている。

### U-Jターン就業・創業

#### 移住支援事業

460万円

長野県への移住促進を図る移住支援金2件分

問 U-Jターン就業・創業移住支援事業の支給要件は。

答 移住支援金は、国の補助を活用し、予算の範囲内で長野県と県内市町村が共同して支給するもの。令和7年度より「農林水産業に従事している者」と「家業等に従事している者」が加わり対象者が拡充される。詳しくは下のQRコードからご覧下さい。



### 和田コミュニティセンター 指定管理委託料

872万円

和田コミュニティセンター  
ター光熱費450万円

問 和田コミュニティセンターの

電気料と床暖房に使われる燃料費が高額である。床暖房を止めてファンヒーターを使うなどの対策をすることで削減できるのでは。

**答** すべてをファンヒーターにしてしまうことは難しい建物である。併用して暖房できないか検討する。

**3,487万1千円**  
**商工振興費負担金補助及び交付金**  
 温泉優待券負担金84万円  
 地域いきいき券負担金750万円

**問** 温泉優待券については半減する予算だが、昨年度、優待券の利用実績が少なかったのか。

**答** 令和6年10月から令和7年1月末までの優待券利用実績は、やすらぎの湯Ⅱ大人1785枚、小人31枚、ふれあいの湯Ⅱ大人687枚、小人16枚と、利用者は多い状況にある。反面、地域いきいき券の普及や利用率を考えると、優待券の減額分を「地域いきいき券」へ補填した方が町民全体の利便性の向上につながる

がると判断した。

**1910万円**  
**ふれあいの湯管理事業**  
 指定管理料1850万円  
 施設改修工事60万円

**問** ふれあいの湯の指定管理料には、食堂の分も含まれているのか。

**答** 含まれている。

**2,761万7千円**  
**やすらぎの湯管理事業**  
 指定管理料1600万円  
 源泉ポンプ入替工事1045万円

**問** 経営状況は詳細に把握しているのか。昨年3月議会で「指定管理料の積算根拠の明確化と経営状況の報告」を附帯決議として予算を認めた経過がある。そのことも踏まえて、令和7年3月の半期決算等を議会へ示す必要があると考えるがどうか。

**答** 担当として取締役会に同席し現在の経営状況について把握している。振興公社と協議した上で、説明する機会を設けたいと思う。

空き家活用促進事業

**847万8千円**  
**空き家等実態調査委託料**  
 550万円／空き家改修等補助金220万円

**問** 所有者等に調査を行い基礎資料を作成すると言ったが、空家等実態調査業務委託料に所有者アンケートの実施について、その内訳は。

**答** 計画準備に64万円、現地調査に282万円、意向調査に204万円を計上している。

長和町合併20周年記念事業

**300万円**  
**広告料150万円**  
**総務事業その他委託料**  
 149万2千円

**問** 広告料と委託料の内訳は。

**答** 新聞一面掲載で150万円、事業を進めるための委託やデザイン料を委託料で想定している。

**問** 一過性で終わるので無く、この先も残るものとしてモニタメントや記念パネルなども検討してほしい。

**答** 承知した。



和田コミュニティセンター玄関ロビーも床暖房

**132万6千円**  
**環境衛生費耐震関連事業**  
**耐震診断委託料2件**  
 17万6千円／耐震改修事業補助金1件115万円

**問** 住宅建築物の耐震診断委託料と住宅建築物耐震改修事業補助金の説明を。

**答** 耐震診断委託料は、専門家を町民に紹介し、診断を無料で受けられる。改修事業補助金は耐震改修工事1件に対する補助金で、補助率は4/5、4月から115万円に引き上がる。

**707万5千円**  
**森林環境譲与税基金繰入金**  
**支障木撤去等委託料22**  
**7万5千円／林道費町単**  
**独事業250万円**

《説明》 森林環境譲与税は間伐や人材育成・担い手の確保、木材の利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てるもの。

問 長和町は私有林が非常に多く山が荒れすぎるのを防ぐためにも、森林環境譲与税を活用し積極的に対策を取るべきでは。

答 森林環境譲与税は、林道の整備、ライフラインの維持、別荘地などの環境整備に充てることとしている。森林整備は、林道等の整備をした上で、森林経営管理制度を活用しながら計画的に進めていきたい。

**79万7千円**  
**人権教育費**  
**男女共同参画一般経費**  
**6万円**

問 男女共同参画の取組はほとんど進んでいない。男女共同参画推進委員会は令和6年度に何回

開いたか。また、7年度はどうする計画か。

答 令和6年度は委員会は開催していない。7年度には2回開催できればと考えているが、内容については決まっていない。

**社会福祉施設費**

**1億5,181万2千円**  
**福祉施設整備事業補助金**  
**1億2206万2千円／車**  
**両購入補助金400万円**

問 福祉車両購入補助金で購入する車の使用目的は何か。

答 福祉企業センターの事業を令和8年4月1日より樫の木福祉会へ事業委託するのに合わせ、樫の木福祉会で購入し、企業センターから移行する利用者の送迎に使用する予定である。納入に日数が掛かるので、令和7年度早めの購入を考えている。

**469万6千円**  
**防犯対策費**  
**防犯カメラによる見守り**  
**体制充実事業47万2千円**

問 広域的な犯罪が増える中で、防犯カメラの増設をする予定は

あるか。地方創生事業でも位置付けられているので、設置に向けて検討して頂きたい。

答 この事業は子どもの見守りを重点においた事業だが、今後はその他の区域についても設置を検討したいと考える。

**防災対策費**

**3,757万6千円**  
**地域防災計画改訂他委託料467万5千円**

問 地域防災計画改訂は、現行計画の更新を予定しているのか。簡素化した計画は作成する予定はないのか。

答 現行計画の更新を予定している。その委託料の中で本庁舎の業務継続計画の改訂も行う予定である。簡素化した計画については、落札した業務委託業者と協議し、作成について検討したい。



防犯カメラによる見守り体制を充実します。

**3,757万6千円**  
**防災対策費**  
**個別避難計画策定業務委託料70万円**

問 個別避難計画委託料が、昨年度より大幅に減額となっているが、その理由は何か。

答 昨年は対象者全員525人分を計上しましたが、現在の作成状況を鑑みて、来年度は100名分の計上とした。

# 賛成討論



龍野一幸 議員

## 時代の変化に対応する予算

令和7年度の長和町一般会計予算に賛成する主な理由として、デジタル社会への対応、脱炭素・持続可能なSDGs推進に対する取り組み、急激な社会経済情勢の変化に対応していることがある。

町の人口減少に伴い、生産性と効率性向上に向け、国のIT戦略やDX推進計画に関連した費用を計上、公共交通「ながわごん」では地域連携ICカード導入を計画し住民の利便性向上。脱炭素にはソーラーパネル設置や住宅用蓄電池システム設置補助金を。また、無償化制度の対象とならない2歳児

までの保育料軽減や給食費無償化を進めるなど、住民生活の維持向上に向けた予算となっている。

多額の基金を取り崩して運営する厳しい財政状況の中、住民の全てが満足する予算を編成することは不可能である。庁舎一般管理費など、職員が費用抑制に目を向けた努力も予算書から読み取れる。

## 選ばれる町になるために

地域おこし協力隊に関する予算はおよそ5千万円。町の発展を図るには、協力隊の知恵と英知を活かすことが重要で、明確なミッションを用意し、活動しやすい指導助言を要望する。人口減少問題に対応して、いち早く給食費の無償化や通学費補助等の移住定住に向けた取組を行ってきたが、まもなく全ての市町村で同様の制度が導入される。その時に長和町は選ばれる町になるのか。改めて農業・観光・自然環境など多方面に「長和町の魅力」の発掘が必要と考える。

以上、長和町の更なる飛躍と発展を切に願い、本予算案に賛成とする。  
(抜粋)

## 厳しい財政状況下での予算

令和7年度長和町一般会計当初予算は総額60億7800万円で、前年度と比較すると1億500万円増の予算となった。

予算編成作業において、多額の基金を取り崩して財政運営を行っている長和町の置かれている厳しい財政状況を考慮し、厳しい中においても実施する必要がある事業を精査した、と新年度予算概要に記載がある。

財政の硬直化が進む中で、住民福祉の向上を考慮しつつ、人口減少や少子高齢化傾向の課題に歯止めをかけるべく予算編成がなされ



佐藤恵一 議員

# 賛成討論



たものと考えられる。

しかしながら、毎年、依田窪医療福祉事務組合への負担金として取り崩している新町一体醸成基金残高も枯渇が目前に迫ってきており、さらに財政調整基金も災害等の不足の事態に備えるため取り崩し可能額にも限度があり、財政の厳しさはさらに増していくものと思う。

## 財源確保へ企画力向上を

今後、住民の福祉向上のための施策を実施するため、交付金等の財源確保がより一層必要となってくるが、その交付金においては全国一律のばらまき交付金が少なく、自治体が自ら企画した案件で他の自治体と争って獲得しなければならぬ交付金が増え、自治体間競争が激化してきている。

多額の基金取り崩し財政運営から脱し、財源確保に向けて、自治体間競争で獲得すべき交付金を獲得できる企画力がある自治体を目指すことを要望して、賛成討論とする。  
(抜粋)

# 社会文教常任委員会



田福光規 委員長

委員長／田福光規  
副委員長／阿部由紀子  
委員／龍野一幸  
羽田公夫  
森田公明

社会文教常任委員会は3月6日(木)に委員会を開催。付託された条例案、令和6年度補正予算案、令和7年度特別会計予算案、指定管理者の指定などについて審査し、すべての議案が可決すべきものと決定されました。

令和6年度長和町一般会計補正予算(第8号)について既定の予算総額から5308万1千円を減額する。

## 住民生活課

311万1千円減  
再生可能エネルギー普及推進事業再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業271万1千円減

**問** 公共施設26か所の屋根に太陽光パネルを乗せる調査を行ったというが。

**答** 長和町公共施設等総合管理計画にある48施設について、太陽光パネルの

# 3月議会

長和町議会令和7年第1回定例会が、2月27日(木)から3月21日(金)までの23日間の会期で開かれ、条例案15件、補正予算案9件、令和7年度予算案10件、指定管理者の指定について2件などの審議を行い、すべての議案が可決・同意・採択されました。また、8人の議員が一般質問を行いました。審議結果は議会ホームページに掲載しましたので、下記QRコードからご覧下さい。



急速充電器は電力稼働型である。電力稼働型はそのままの電力で充電できる。和田宿ステーションは昨年9月に入替・12月末現在で18件、古町は2月に入替・2月末現在3件の利用があった。

## 保健福祉課

948万6千円増  
障がい福祉費  
障がい者自立支援システム改修150万7千円増

**問** 障がい者自立支援システムの改修内容は。

**答** 制度改正によるもので就学前障がい児の発達支援無償化に係る認定手続きの簡素化と、同一世帯の複数児童の上限額管理

に伴うシステム改修である。

**問** 障がい者自立支援システム改修費の見積の内訳は。

**答** 制度改正対応システム一式99万5千円＋導入作業費37万5千円＋消費税13万7千円である。

## 教育課

30万1千円減  
文化財保護費  
長和の里歴史館・文書館運営事業28万4千円減

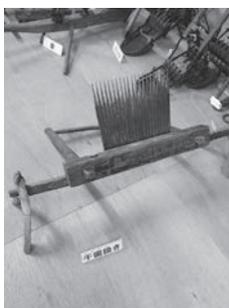
**問** 長和の里歴史館・文書館の利用者及び設立の目的は。

**答** 町内外から見学者利用者がおり、歴史資料の閲覧調査が可能である。文

書館は古文書や行政資料など将来に残していくべき資料を保管し、一般の方にも情報提供して対応するために設立した。

**問** 利用者数は。また、小学校の授業に活用されているか。

**答** 令和5年度は700人ほどの見学者利用者があった。最近も和田小学校3年生が「昔の道具調べ」で来館し、長門小学校には「千歯こき」などの古民具を貸出している。



千歯扱き

令和6年度長和町国民健康保険歯科診療所事業特別会計補正予算(第1号)について

既定の予算総額から900万円を減額する。

**問** 和田歯科診療所の診療

日が少ない理由は。

況であり、町も広報等でスタッフの募集をかけて

**答** スタッフの不足により

予約制で運営している状

いる。ながと歯科と協議を続けていく。

令和7年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算について

令和7年度予算総額8億5900万円

**問** 前年度の予算総額と比

較すると7900万円の

増額となっているが、そ

の根拠はなにか。

911円、令和5年度45万2757円であり、1年で約5万円増加してい

**答** 県から示される試算額

をもとに計上している。

長和町の一人当たり医療

費は、令和4年度40万4

保険給付費も併せて増加することになり、保険給付費だけで7800万円ほどの増額となる。

令和7年度長和町後期高齢者医療特別会計予算について

令和7年度予算総額1億1070万円

**問** 保険料が増額となる理

由は何か。

では所得割8・43%、均等割4万907円、令和6

**答** 令和6年度より保険料

率が変わった。令和

2年度から令和5年度ま

年度から所得割9・45%、均等割4万4365円に増額となっている。

令和7年度長和町介護保険特別会計予算について

令和7年度予算総額11億200万円

**問** 配食サービスの利用者

数と単価は。食数が減る

とした理由は何か。

数が959円、おかずのみが915円で、利用者負担金はご飯とおかずが

**答** 配食サービスの利用者

数は毎月30名前後。配食

の委託単価はご飯とおか

480円、おかずのみ430円である。配食数が減っている理由には、民

指定管理者の指定(長和町資料館「羽田野」)について

令和7年度からの指定管理者を(株)米屋鐵五郎とする。

**問** 資料館の建物としての

指定管理がメインである

はずだが、事業計画書で

は触れられていない。指

定管理の在り方として整

合性に疑問があるが。

活性化という目的で委託にしたほうがいいのか。資料館として条例に位置付けられているが、指摘のように実際の運用状況から検討すべき課題である。教育委員会が所管する資料館として条例に位置付けられているが、指摘

**答** 資料館の維持管理が主

であり、その上で有効活

用のための自主事業をす

るという認識である。

**問** テレワークや宿泊事業

を行うのであれば、文

化財施設として指定管理

にだすのではなく、町の

きか、観光宿泊を主目的とするのであれば、担当部署や所有者との協議など、整理していかねばと思う。

間の宅配業者や移動販売車等、食の支援に関する選択肢が増えていることもあると考える。

議員提出により指定管理期間を変更する修正案を可決!

指定管理者から提出された利活用の目的は素晴らしい、地域の活性化と和田宿の振興に寄与するものであるが、施設の設置目的の『資料館』としての活用が明記されていない。町から、今後の管理体制や所管部署について検討するとの答弁があること、指定管理期間が4月からであることを踏まえ、指定期間を令和7年4月1日から令和8年3月31日の1年間とする修正案が議員より提出され、全員賛成により修正案を可決すべきものと決定した。(抜粋)

# 総務経済常任委員会



佐藤恵一 委員長

委員長／佐藤 恵一  
副委員長／荻野 友一  
委員／原田 恵召  
小川 純夫  
渡辺 久人

総務経済常任委員会は3月7日(金)に委員会を開催。付託された条例案、令和6年度補正予算案、令和7年度特別会計補正予算案、事業会計予算案などについて審査し、すべての議案が可決すべきものと決定されました。

令和6年度長和町一般会計補正予算(第8号)について既定の予算総額から5308万1千円を減額する。

## 総務課

**332万5千円減**  
個別避難計画策定業務委託料 令和6年医療機関等に策定委託する実人数50人分に減額

**問** 個別避難計画について作成数の目標などは定めているのか。  
**答** 作成目標としては、対象の避難行動要支援者525人全員としている。

**385万5千円増**  
防災対策費備品購入 新しい地方経済生活環境創生交付金(地方防災緊急整備型)を1/2充てる

**問** 補正対応の防災部品は何を購入するのか。  
**答** 簡易ベット50台、段ボールベット50台、パーテーション20セット、大型テント2張りを申請している。

**問** 備品設置場所はどこを想定しているのか。

**答** 保管場所は、広域避難場所の空き具合を確認しながら分散して設置することを想定している。

**55万1千円増**  
消火栓改修負担金 上水道事業会計へ操出

**問** 消火栓改修工事2箇所場所と、その内容は。

**答** 工事箇所は、小茂谷地区、桜町地区の各1箇所。で、事故により消火栓が破損したものである。

**問** 消火栓は老朽化に伴う更新の見込みはあるか。

**答** 老朽化による更新については、設備の状況を鑑みて検討していきたい。

**58万1千円減**  
巡回バス運行業務委託料

**問** 委託料を減額した内訳は何か。

**答** 運行業務委託契約時の差金を減額するもの。

**問** 3月議会での補正となっているが、委託契約の契約日などはどのようになっているのか。

**答** 令和6年4月1日から契約だが、突発的な費用への対応も考慮し年度末での補正となった。

**298万2千円減**  
キャッシュレス機器等導入委託料

**問** 委託料を減額したのはシステムの構築ができた

かったと捉えていいか。そうであれば、将来的にはどうするのか。  
**答** システム自体は構築できているが、キャッシュレスで払って頂くお金は一般会計に入り、異なる口座等に対応していないことから、一部については実施しないこととしたもの。将来的にはできるところからしっかりと取り組んでいきたい。



絶好のスキー日和(ブランシュたかやまスキー場)

産業建設課

たかやまスキー場管

理費

0円組替  
改修工事に充てる財源を  
辺地債から過疎債に組替

問 辺地対策事業債の対象  
とならなかった部分につ  
いては、他の市町村等に  
割り振られたために長和

町まで回ってこなかった  
ということか。

答 令和6年度の全国の起  
債計画額が地方債計画額  
を上回ったため、減額調  
整された結果、当町の要  
望額を満たすことができ  
ず過疎債を充当する形と  
なった。

長和町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関  
する条例の一部を改正する条例について

勤続年数が30年を超える非常勤消防団員について、退職報  
奨金の額を定める

問 長和町には勤続30年以  
上の対象となる団員はい  
るのか。

答 現在はいないが、近年  
中に30年に達する団員が  
出てくる見込みである。

問 下位の階級に降格した  
場合、退職報奨金も下  
がるのか。

答 それまで在籍した最高  
階級が適用となり、勤続  
年数が加算される。

令和7年度長和町観光施設事業特別会計予算について  
令和7年度予算総額9400万円

問 防犯カメラの使用料や  
リース料が計上されてい  
るが、どこに設置するの  
か。

答 ふれあいの郷別荘地の

出入口の上と下の2か所  
の設置を検討している。

問 法律相談料、弁護士謝  
礼金とあるが、支出の予  
定はあるのか。

答 令和7年度から、相続  
人がいない方との契約の

解除を進めていく予定で  
ある。

長和町営ブランシユたかやまスキー場条例の一部を改  
正する条例について

スキー場の夏期営業に向けて、夏山リフト料金及びキャン  
プサイト料金を定める。賛成多数で可決すべきものとした。

問 夏山リフトの運用開始  
に向けて、(株)マウント長  
和から収支計画は出てい  
るか。

度より本格的に運用した  
いので条例及び要綱の整  
備を行いたい。



賛成  
討論

荻野議員

答 国定公園に係る変更  
については非常に時間がか  
かるので、冬季のリフト  
運行状況を夏季に置き換  
えて概算料金として計上  
した。今シーズンの入り  
込み状況と合わせて、夏  
山リフトの収支計画につ  
いては改めて報告する。

問 本年度キャンプサイト  
を開設したと思うが、条  
例化していない。条例に  
定めずに料金を取って運  
用したということか。

本条例については、令  
和7年度以降に向け対応  
するため行政上必要な手  
続きであり、一番に、(株)  
マウント長和の業績を伸  
ばすための手立てである  
ことを考え、この条例に  
賛成する。

答 本年度実施したキャン  
プサイトは試験的運用と  
して実施した。令和7年

ただし、今後の(株)マウ  
ント長和の新規の事業計  
画や事業概要、また、収  
支に関してはあらためて  
報告して頂きたい。



反対  
討論

原田議員

本条例の中にあるキャン  
プ場について、「令和6  
年度開設したキャンプサ  
イトは、条例にないもの  
で料金を取り運用したの  
か」との間に、「本年度実  
施したキャンプサイトは  
試験的に運用した」との  
答弁であった。

町の施設利用に試行期  
間があるわけがなく、条  
例でなければ規則や要綱  
で定めるとの発言であつ  
たが、これも曖昧で理解  
できない。

たかやまスキー場にお  
いては、従前よりレンタ  
ルスキーについても曖昧  
であると指摘してきた。  
きちんとした説明ができ  
てない。先送りしても  
条例について専門家の判  
断を仰ぐようにするべき  
であるとの考えから、こ  
の条例改正に反対する。

- 1, <sup>たふく こうき</sup>田福光規 議員 …………… P.15
- (1) 私有林の伐採状況とその対応、特に天然更新への対応について
  - (2) 奨学金貸付制度の課題と対応、奨学金返還支援助成金の新設の提案について
  - (3) 带状疱疹予防ワクチン接種への助成の実施について
- 2, <sup>おぎの ともかず</sup>荻野友一 議員 …………… P.16
- (1) 株式会社マウント長和の現状について
  - (2) 指定管理料について
- 3, <sup>たつの かずゆき</sup>龍野一幸 議員 …………… P.17
- (1) GIS (地理情報システム) 活用について
  - (2) 公共交通について
  - (3) 合併20周年について
- 4, <sup>はらだ えしろう</sup>原田恵召 議員 …………… P.18
- (1) 人口減少対策をしているのか
  - (2) 老健いこいの水害対策をしたのか
  - (3) 災害復旧は終わったのか
  - (4) 合併20年行事は何をするのか
- 5, <sup>わたなべ ひさと</sup>渡辺久人 議員 …………… P.19
- (1) アンケート結果と「長和町デジ田戦略」について
  - (2) 地域計画について
- 6, <sup>は た きみお</sup>羽田公夫 議員 …………… P.20
- (1) 部活動の地域移行について
- 7, <sup>さとう けいち</sup>佐藤恵一 議員 …………… P.21
- (1) ふるさと納税寄付金は増収となったか
  - (2) 空き家対策の進捗状況、空家の活用の方策
- 8, <sup>あべ ゆきこ</sup>阿部由紀子 議員 …………… P.22
- (1) 長和町のゴミの問題、これまでと今後
  - (2) 地球温暖化対策実行計画の取り組み

# 質一般

# 8人の議員が 町政を問う！

令和7年第1回定例会では、3月4日(火)5日(水)に一般質問が行われ、8人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規  
議員

奨学金貸付制度の課題と対応、奨学金返還支援助成金の新設の提案について

# 奨学金の金額は増額するか

## 現行通りの額と増額の選択制にしたい

**問** 2023年12月議会で、奨学金について一般質問を行った。その後の進捗状況について、町の取り組みを質していく。

**答 町長** 償還の部分で支援制度を創設できないか検討している、具体的には、卒業後地元に戻った場合や地元企業に就職した場合などは償還金の減額・免除を行えないか具体的に検討すると答弁した。その後、貸付額の増額、償還期間の延長も含め検討してきた。実際に奨学金を借り入れている学生を対象にアンケート調査を行い、当事者の意向を確認し、また、企業による償還金の負担について経営者懇話会に話したところ興

味を示す企業もあり、手ごたえを感じている。令和7年度の実施に向けて、現在作業を進めているところである。

**問** 奨学金の金額を増額する予定は。

**答 教育課長** 申請者の選択制にしたいと考える。選択できる金額は、現行通りの額と、高校等月額3万5千円・大学等5万円の2段階とする予定である。

**問** 奨学金の償還期間は現行通りとしたい。

**答 教育課長** 「所得基準」の見直しは。社会情勢や物価の上昇などを考慮すると基準の見直しを行う必要が

あると考える。

**問** 奨学金の「控除額」の見直しも行ってほしいと要望した。その後の検討状況は。

**答 教育課長** 世帯を対象とする控除と就学者本人の控除を同額にし、自宅通学と自宅外通学の区分を新たに設けることで、控除幅を大きくできると考える。

**問** 改めて、奨学金返還支援助成金の新設を提案する。その後の検討状況は。

**答 教育課長** アンケートでは償還減免規定については積極的な回答が得られなかった。償還免除や給付型の奨学金制度についてはまだまだ研究が必要であると考えている。今後も、町内企業に向け奨学金返還支援制度利

用を促進していきたい。

**問** 「長和町奨学金の貸与に関する規則」の見直しは、いつ行うのか。

**答 教育課長** 3月5日の定例教育委員会に基準の見直し案を提出してご承認頂き、3月中に長和町奨学金貸付運営委員会に報告し、4月1日付けの広報やホームページにおいて周知する。

**問** 今までに「所得基準」で不合格となった方の再審査は行うか。



**答 教育課長** 奨学生と認められなかった方を3年前まで遡って抽出して再判定を行い、奨学生と認められる判定結果が出た方には、奨学金を貸付けられることをお伝えする。  
(抜粋)



荻野 友一  
議員

株式会社マウント長和の現状について

# (株)マウント長和の現状はどうか

## 地域に貢献できる企業を目指している

**問** (株)マウント長和の設立の目的は。

**答** 産業建設課長 公設民営事業の役割は地域創生であること企業理念とし、地域に貢献できる企業を目指し設立された。

**問** 公設民営の利点は何か。

**答** 産業建設課長 町が施設を保有することで、有利な補助金や起債を利用することができ、民間運営にはない大きなメリットとなっている。

**問** (株)マウント長和が抱える債務は、現在どのくらいか。

**答** 産業建設課長 (株)マウント長和が使用料として町に納入すべき金額は、起債償還分及び町単改修費等を合わせて約2億3640万円

である。

**問** (株)マウント長和による返済計画はどのようになっていくのか。

**答** 産業建設課長 返済については年度ごと金額を決めている。コロナ禍や物価高騰などにより厳しい状況が続いているが、返済計画は年度ごとに取り決め、町との対話もきめ細かく相談しながら進めていく。

**問** 町として(株)マウント長和に期待すること、及び具体的な支援策は何か。

**答** 産業建設課長 白樺湖を中心としたインバウンドの誘客について積極的に取り組んでいる。また、今まで実施できなかったスノーボードの解禁や夏季シーズン

営業を始めとする新たな取り組みに期待している。現在、東信森林管理署や上田

地域振興局環境課と協議して、国定公園内の用途変更の認可について事務を進めている。また、「星降る中部高地の縄文世界」として日本遺産となっている鷹山地域を中心に、スキー場の夏季営業と黒曜石体験ミュージアムの体験事業を絡めた新たな観光メニューの創出や、観光客集客のための方策について(株)マウント長和と協議を続けていく。プランシユタかやますキー場は

長和町にとって大事な観光資源であり、町としてもできる限りの支援をしたいと考えている。

指定管理料について

### 指定管理料とは何か

### 公の施設を管理する団体に支払う

**問** 指定管理料を受けている団体はどこか。

**答** 総合政策課長 (株)マルメロエイト・(株)長和町振興公社・和田宿ステーション観光農林業振興組合・農事法人信濃霧山ダツタンそば・(株)米屋鐵五郎・長和町社会福祉協議会・社会法人樺ノ木福祉会となっている。

**問** 指定管理料に対するそれぞれの団体の義務をどのように考えているのか。

**答** 総合政策課長 各施設の管理に関する詳細については、基本協定書及び年度協

定書に定められている。最大の目的は、施設を適正かつ円滑に管理するため、指定管理者の能力を活用しつつ、地域住民等に対するサービスの効果および効率を向上させ、もって地域の福祉の一層の増進を図ることにある。

(抜粋)



わんぱ〜く [kid'sPark]



龍野 一幸  
議員

GIS(地理情報システム)の活用について

# GIS(地理情報システム)の活用は

## 農地利用や空き家など幅広く使っている

**問** GISは、どのような目的で、何に活用されているのか。

**答 町長** 地理空間情報等を庁内で共有管理できる「統合型GIS」を構築し、職員の業務用として、事務の効率化や行政サービスの向上を目的に運用している。

**答 産業建設課長** 主に、固定資産税調査の他、農地利用者の変更時や森林簿など地域計画策定に必要とされる時に使用している。令和2年には人・農地プラン実質化に伴い使用した。当初は国の補助があったが、現在は職員が変更・修正を行っている。

**問** 令和6年度に農林業センサスの調査が行われた。GIS

機能を最大限に活用すれば、調査員が無くても正確な実態調査ができるのではないか。

**答 総合政策課長** 農林業セ

公共交通について

### デマンドの実証運行が終わり、展望は

### キャッシュレス化を推進し、利便性を向上

**問** まもなく公共交通“なが

わごん”の実証運行が終了するが、利用者の皆様からの意見や要望から改善した点は。また、7年度はどのような展望になるか。

**答 総務課長** 利



デマンドバス「ながわごん」

ンサスの実施方法に関しては国からGIS活用が明言されていない。活用が認められた場合は、示された方法に従い活用していく。

合併20周年について

### 合併20周年のイベントの考えは

### 厳しい財政状況を考慮した内容を検討

**問** 合併から20周年を迎える本年、敬老祝賀会や二十歳を祝う会の実施予定と行事内容は。

業務負担が非常に多い、以上の理由で開催しないことをご理解頂きたい。

**答 保健福祉課長** 敬老祝賀会は、①感染症と熱中症のリスクが高い ②近隣市町村で自治体主催の開催の例が無い ③民生児童委員の

**答 教育課長** 二十歳を迎える方が組織する実行委員会の際に、合併20周年の記念となるセレモニーを検討してはどうか提案したい。(抜粋)



原田 恵召  
議員

人口減少対策をしているのか

# 2050年には今の半分の2800人に

## 現在と同じ減少率で推移の見込み

**問** 町の推計によると、長和

町は2050年には、人口が現在の半分の2800人になると言われている。最近の減少スピードからするとそれよりも早く半分になるのではないかと危惧される。年間に死亡者が100人に対し、出生は10人に足らずである。現状と見込みはどうか。

**答** **総合政策課長** 令和4年度から令和6年度の出生者数と死亡者数及び今後の見込みについて（令和6年度は令和7年2月13日現在）  
令和4年度 出生31人・死亡121人／令和5年度 出生12人・死亡107人／令和6年度 出生9人・死亡86人である。

出生者数については、令和11年時点での目標値は25

人。死亡者数については、ここ数年約100名の方が亡くなられている。町の人口は減少していくことが予想されるが、現在とほぼ同じ水準で推移していくと考えている。

**問** 転入転出の状況は。

**答** **総合政策課長** 令和4年度から令和6年度までの転入者数及び転出者数について（令和6年度は令和7年2月13日現在）  
令和4年度 転入147人・転出131人／令和5年度 転入132人・転出199人／令和6年度 転入134人・転出103人である。今後の社会増減の

見込みとしては令和11年度

時点で9人減を目標としている。

**問** 住宅の確保について、空き家バンクに登録される住宅は需要に応じて供給されているか。

**答** **総合政策課長** 空き家バンクの住宅の登録数は、現在72件、購入数は50件、取り下げ及び解体は8件となっており、残りは14件である。

**問** なぜ、住宅団地を造成して、人口を増やそうとしているのか。

**答** **総合政策課長** 今後の住宅団地の造成にあたり、町内の地域バランスを考えたつ、家庭菜園付きの住宅団地や購入しやすい価格設定



令和7年度 長門小学校入学式

等について検討し、魅力ある住宅団地の造成について土地開発公社において検討していく予定である。

この他に、「老健いこの水害対策」「災害復旧」「合

併20年」について質問しましたが、紙面の都合により掲載できません。議会ホームページに5月末に掲載する会議録をご参照下さい。

（抜粋）



渡辺 久人  
議員

アンケート結果と「長和町デジタル田園都市国家構想戦略」について

# まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果は

## 協議会に諮り、ホームページで公表する

**問** 「長和町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成27年度から10年間を通して取り組んできた。

第1期、第2期共に4つの基本目標を掲げて実施してきたが、目標に対して成果はあったのか。

**答** 総合政策課長 第2期総合戦略の計画期間が本年度（令和6年度）となっているため、総括については、令和7年に入って地方創生推進協議会において協議を行い、町ホームページで公表する予定となっている。

**問** 令和7年度からは「長和町デジタル田園都市国家構想総合戦略」となるが、どのような施策なのか。

**答** 総合政策課長 令和4年

に国が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、町としても第2期総合戦略の計画期間の満了を受け、引き続き人口減少等に立ち向うため、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえた「長和町デジタル田園都市国家構想総合戦略」として策定することになったものである。

**問** 「デジタル戦略」策定に当たり、プロポーザルで「一般財団法人長野経済研究所」にアンケートの分析も含めて500万円で委託した。アンケートの結果を見ると基本目標1（地域資源を活かした地域産業の振興で働いてみたくなる長和町をつ

くる）の回答結果は8施策

全てで不満足が満足度を上回っている、とくに雇用・

働く場所確保・人材、商工業・企業情報発信の不満足

が高い（私の評価もまったく同じ）住民も不満を感じ

ている現実が解った。基本目標1のアンケート結果を

どのように考察したか。

**答** 総合政策課長 雇用創出関係の「働く場所の確保」に

地域計画について

### 『地域計画』とは何か

### 将来の受け手を示す目標地図を作成

**問** 昨年12月〜今年1月にかけて「地域計画」策定に係

わる懇談会が開催された。「地域計画」とは何か。

係る住民の不満が大きいこ

とが、アンケート結果から推測される。「デジタル戦略」

では、若い世代や子育て世代、長和町への移住者、町

内在住者の雇用を確保するため、空き家の活用も視野

に、企業の誘致や雇用の拡大、良質な仕事の確保に取

り組み、「企業誘致のための情報収集」や「テレワークの

推進」を進めていく。

めた「目標地図」を作成し、地域計画の公表や公告を経て完成となるものである。

**問** 令和7年4月から農地の貸借方法が変わると言うが具体的になどなるのか。また、農地所有者に対して意向調査と周知を行ったか。

**答** 産業建設課長 これまでの貸借は相対契約、農地中間管理事業、農地法第3条の方法であったが、4月からは農地中間管理事業と農地法第3条のみとなる。

今後の対応では、3月14日開催の転作委員会において、4月以降の農地の貸借等についてチラシを配布するとともに、町ホームページや広報・Nナビを活用して周知したい。（抜粋）



羽田 公夫  
議員

運動部活動の地域移行について

# ゴールが目前にせまる部活の地域移行

## 進まぬ民間指導者さがしの難しさ

**問** 地域移行の話が出た当初より、受け皿となる地域のスポーツクラブ・体育協会・競技団体等には、説明や協力依頼をしてきたのか。

いが、他の種目のクラブからは前向きな回答を頂いている。南部中では、早い段階から近隣中学と合同部活を行っている。

**答** 町長 現在、部活動指導者の80%を教職員が行っているという。国や県も教職員の負担軽減に向けて、民間の指導者探しを展開しているが、中学生を任せられる指導者をどれくらい集められるかが一番の問題である。南部中は上田市との組合立なので、双方が協力して取り組んでいく。

**問** 現在、運動部活動の顧問として活動している教職員が、引き続き指導者として活動できるという特例が公表されている。その条件と手続きは、更に、現在南部中では希望されている教職員は何人いるのか。

請は出されていない。  
**問** 地域移行はすでに始まっているが、保護者には経済的負担と生徒の送迎や大会運営等への参加が求められるものと思われ、家庭の状況で生徒に格差が出る可能性が考えられる。公的な支援はできないか。

援はできないか。  
**答** 教育課長 町営施設の使料については減免対応ができる。県でも部活動にかかる経費までの補助は難しいとの見解である。国に対して、指導者報酬などと併せ要望をお願いした。

### 平日の部活動や文化部の活動は

#### 基本的に今と変わらない

**問** 以前より学校では平日も部活動が行われてきたが、移行後、指導者がいない場合はどうなるのか。

対応と変わらないが、組合教育委員会では対策を考えていくことになる。  
**問** 現在南部中には、吹奏楽・パソコン・美術など文科系の部があるが、顧問のなり手がいない部活動はどうなるのか。

**答** 教育課長 顧問のいない部と同様に地域移行を目指している。(抜粋)

**答** 教育課長 当初より町内の諸団体に対し、説明やアンケートを行っている。長和スポーツクラブのバレーボールは指導者がいないと

確認、了承すれば教育委員会へ申請書を提出。教育委員会が支障がないと判断すれば許可することになる。南部中では現状この許可申

様に地域移行し、南部中では近隣中学と合同部活を行う方針である。部活動に入らない生徒は今までの学校

部活については、地域の指導者をお願いする。平日については当面現状通り行われるものと考え、令和9年度には地域移行を目標にしている。

**答** 教育課長 吹奏楽部の練習場所は、楽器の移動が難しいので音楽室になる。大会やコンクール等の引率は教職員と外部講師が行う。その場合の旅費は学校で負担。文科系の部活も平日の活動は、現行通り校内で行うが、令和9年度には運動部と同様に地域移行を目指している。(抜粋)



佐藤 恵一  
議員

ふるさと納税寄付金は増収となったか

# ふるさと納税は増収となったか

## 町の重要施策として対応していきたい

**問** ふるさと納税寄付金の推移と、令和7年度に増収をめざすための取組は。

**答 町長** ふるさと納税寄付金は、厳しい状況が続く町財政において、今後伸ばしていくことができる自主財源であり、また、返礼品を通して、長和町を広く全国にPRできる大きな要素であると考えている。今後、

返礼品の充実等の課題に取り組み、町の重要施策として対応していきたい。

**答 総合政策課長** ふるさと納税の実績は、令和5年度478件・1320万円、令和6年度2月13日時点で408件・1221万円である。

**問** 企業版ふるさと納税獲得

のため、令和7年度はどんなまちづくりビジョンや共感を呼ぶプロジェクトを考えているのか。

**答 総合政策課長** 町のデジタル田園都市国家構想総合

空き家対策の進捗状況、空家に活用 of 施策

### 空き家問題の進捗と課題

#### 係を統合し、総合政策課移住定住係で対応

**問** 空き家とされた538件の中で、移住定住係への空き家に関する相談件数は。

**答 町長** 町の機構改革に伴い、空き家対策を担当する係と空き家バンクを担当する係を統一し、総合政策課の移住定住係において対応することとした。一つの係

で空き家の状況等を把握す

戦略に搭載された事業にのみ充てることができることから、まず、この戦略に搭載された事業を企業の皆様を知っていただくことが重要であると考えている。

ることができ、空き家バンクの活用の一層の推進が図られることとなる。

**問** 長和町空家等対策計画の基本目標1で「住民協働による管理不全な空家等の抑制」とするが、具体的な施策は。

**答 総合政策課長** 自治会または区の皆様との空き家に

係る情報収集体制等について、現時点では具体的な対応を持ち合わせていない。今後、検討していく。

**問** 同計画の課題4において「空家になっていない住宅を空家にしないための予防保全対策」をあげているが、所有者とその関係者が事前

に自宅について話し合いを

持っておくことは、その後空家となった場合に短期間で活用が可能となる場合が多いが、その対応は。

**答 総合政策課長** すまいの終活ノート「家のコト」について、「長和町空家等対策協議会」で協議の上、活用していく。(抜粋)

#### 令和4年度空家実態調査、より

町の空き家数 538 件の内

- ① 移住定住係への空き家に関する相談件数 … 49 件
- ② 空き家バンクに相談があった件数 … 49 件
- ③ その後、空き家バンクに登録となった件数 … 30 件  
内、成約となった件数 … 17 件
- ④ 家屋解体に至った件数 … 9 件



北信4市町村が作成した「家のコト」(部分)



阿部由紀子 議員

長和町のゴミの問題、これまでと今後

# ゴミの分別の仕方を分かりやすく

## 町HPでキーワード検索機能がスタート

**問** 生ごみは夏場になると収集日まで日数があり、悪臭や衛生面が気になるという声がある。生ごみを燃えるごみとして出すことでどのような問題があるか、また、生ごみは現在どのように処理されているのか。

**答** 町長 生ごみは長門牧場の生ごみ堆肥化処理施設において処理している。以前は長門牧場の牛糞を混合して堆肥化を行い、町内の農地等へ還元していた。施設の不具合・町でし尿処理を行うことになった・下水道処理施設の浄化槽汚泥を安定的に処理する必要が生じたことから、生ごみ堆肥化処理施設を改修し、平成31年度から100%町下水汚

泥に切り替え、生ごみと混合して堆肥化処理を行っている。

**答** 住民生活課長 生ごみと可燃ごみの分別は、焼却施設の長寿命化、町の歳出抑制に繋がり、生ごみ堆肥の活用は、循環型社会の実現や資源の有効活用、フードロスの削減にも繋がり、気候変動の抑制やSDGsの取組にもなる。今後適正に分別し処理して頂くよう啓発活動に努めていく。

**問** 新年度から、生ごみ袋のサイズと販売価格が変更になる。どう変わるのか。

**答** 住民生活課長 4月1日から、袋の容量が現行の11ℓから10ℓになり、袋の単価が5円引き下げ30円にな

る。また、現在の生ごみ袋の文字色は不燃ごみ袋と同じ青色で間違えやすいため、袋の文字色も変更する。

**問** 粗大ごみの手数料について、町の一般廃棄物処理場と民間業者への持ち込みとは料金に差がある。

**答** 住民生活課長 町民としては町の処理場で安く出せるのは助かるが、個人のゴミの手数料を町が負担するのは、町のためにならないのでは。

**問** 粗大ごみの手数料について、町の一般廃棄物処理場と民間業者への持ち込みとは料金に差がある。

**答** 住民生活課長 一般廃棄物処理場での粗大ごみの手数料は、運搬処理料の3割で、差額の7割は町が負担をしている。一般廃棄物処

理場に粗大ごみの重さをトラックごと計れる大型の秤がないことや、種類ごとの処理価格の指導員間の共通認識の難しさから現在料金設定が一律になっている。手数料の負担割合の見直しや料金設定について、令和



長和町ごみ収集袋と家庭ごみの出し方検索

7年度の検討委員会の中で協議していく。

**問** 町の「ごみ分別のてびき」で、『缶は中をすすぎ、スチールとアルミを分けて燃えないごみ袋に入れて出す』とされている。他の地域ではバラで専用のボックスに入れる方法や、ネットやコンテナを使用する形になっている所もあるが。

**答** 住民生活課長 処理業者が強力な永久磁石でスチール缶とアルミ缶の選別をするようになり、中間処理業者に袋を裂く手間が発生している。今後、スタンドやネットなど資材の準備等を進め、令和8年度からごみの分別収集方法を見直す予定である。

(抜粋)

★議案に対する議員の賛否結果《賛成◎、反対❌、議長は決決に加わらない》（賛否の分かれたもののみ掲載）

議案	表決結果	阿部由紀子	龍野一幸	荻野友一	佐藤恵一	田福光規	羽田公夫	原田恵召	小川純夫	渡辺久人	森田公明
長和町営ブランシュたかやまスキー場条例の一部を改正する条例について	可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	❌	◎	◎	—
指定管理者の指定について(長和町資料館「羽田野」)：指定期間の修正案	可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	❌	◎	—
指定管理者の指定について(長和町資料館「羽田野」)：指定期間を除く原案	可決	◎	◎	◎	◎	◎	◎	❌	◎	◎	—

補) →「長和町営ブランシュたかやまスキー場条例の一部を改正する条例」については、P.13 総務経済常任委員会の説明及び討論を参照して下さい。 →また、指定管理者の指定について(長和町資料館「羽田野」)の議論については P.11 の社会文教常任委員会の審査経過をご覧下さい。

# 意見書

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情」を可決し、意見書を全員賛成で採択。内閣総理大臣等に提出しました。

## 最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書

提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣他1機関

物価高騰が続き、住民の生活を圧迫し、特に非正規雇用やフリーランスなどの弱い立場の労働者は深刻である。また、中小業者、観光業や農林水産業の経営にも打撃を与えている。住民の暮らしを守るためには、賃上げの動きを加速させ、国民の消費購買力を高め、経済の好循環をつくる必要がある。このために、最低賃金の大幅引き上げと、地域間格差をなくす全国一律へ法改正が喫緊の課題であり、抜本的な中小業者、観光業、農林水産業への支援の強化が必要である。

記

- 1、政府は、最低賃金法を全国一律制度に改正すること
- 2、政府は、労働者の生活を支えるため、最低賃金1500円を実現すること
- 3、政府は、最低賃金の引き上げを円滑に実施するため中小業者、観光業、農林水産業への支援を国の義務とする条項を最低賃金法に設けること (要旨)

提出者 佐藤恵一 総務経済常任委員長

## 第一回臨時会

1月30日(木)、令和7年長和町議会第1回臨時会が開催され、令和6年度一般会計補正予算1件について審議を行い、全員賛成で可決しました。

令和6年度長和町一般会計補正予算(第7号)について

既定の予算総額に7020万4千円を追加し、予算総額を62億8341万7千円とする。

国の物価高騰対応臨時交付金の交付に合わせて事業を行う。

■物価高騰対策支援給付金事業2867万8千円 令和6年度住民税非課税世帯に対し1世帯3万円を支給する。18歳以下の子ども一人に2万円を加算。

■燃料費高騰等支援事業2513万2千円 町内全2024世帯に1世帯8千円の地域いきいき券を配布する。

■町内事業者エネルギー高騰応援事業1107万5千円 従業員規模に応じ4〜10万円の応援金を支給する。(報告・原田恵召議員)



Harada

# ■ 会談懇話会 ■ 研修 会視察会 ■ 組合議会 委員会 ■ 広域 ■ 活動報告 ■

## ■ 依田窪医療福祉事務組合議会3月定例会



桜咲く「国保依田窪病院」

# 上田医療センターとの医療連携が進展



Abe

3月18日(火)、依田窪医療福祉事務組合議会・令和7年第1回定例会が開催され、令和7年度予算案5件、令和6年度補正予算案4件、条例案3件について審議を行い、採決の結果、すべての議案が全員賛成で可決されました。

■ 令和6年度は、城下病院長のもと新たな取り組みがスタートしました。

信州上田医療センターの満床状態による救急搬送受け入れ停止時間を短縮するため、急性期医療後の患者を依田窪病院に転院させる「下り搬送」を開始、医療センターの初期救急等の対応に医師等医療従事者を派遣するなど上小地域の医療連携に大きく貢献しています。

■ 4月からの医師体制等について

□ 内科・総合診療科(3名の医師が3月末で退職されますが、新た

3月18日(火)、依田窪医療福祉事務組合議会・令和7年第1回定例会が開催され、令和7年度予算案5件、令和6年度補正予算案4件、条例案3件について審議を行い、採決の結果、すべての議案が全員賛成で可決されました。

■ 令和6年度は、城下病院長のもと新たな取り組みがスタートしました。

信州上田医療センターの満床状態による救急搬送受け入れ停止時間を短縮するため、急性期医療後の患者を依田窪病院に転院させる「下り搬送」を開始、医療センターの初期救急等の対応に医師等医療従事者を派遣するなど上小地域の医療連携に大きく貢献しています。

■ 4月からの医師体制等について

□ 内科・総合診療科(3名の医師が3月末で退職されますが、新た

令和7年度 医療福祉事務組合予算 (単位：千円)

会 計	予算額	前年比較増減
一般会計	252	10
病院 事業収支	3,902,736	250,038
病院 資本的支出	628,046	133,288
老人保健施設	532,150	△ 56,760
訪問看護ステーション	80,963	△ 3,733
居宅介護支援事業所	34,104	2,978

に3名の医師が着任され変わらぬ8名の充実した医師体制となります。

□ 整形外科(医師1名が着任され4月から局所麻酔による脊椎内視鏡手術を導入して、高齢者や全身麻酔が困難な患者さんに体への負担が少ない治療ができるようになります。

■ 依田窪老人保健施設について、令和7年度から経営改善に向けた取り組みを進めていきます。

(報告：阿部由紀子議員)

■ 下諏訪町議会とのスキー交流会



# ブランシュは 気持ちよく 滑れます!

スキー交流会に参加した両町議会議員

私は、もちろんスキーグループ。当然、技能向上が目標です。この日初めてスキーに挑戦する竹元さんには、ベテランの松井さんが、レッスンを開始。他は、技能レベルの似通った者同士がグループを作り、滑って、リフト同乗時に技術論を交換するなど、意義ある交流が深められました。これ以上は望めない好環境

1月10日(金)、下諏訪町議会議員とブランシュたかやまスキー場においてスキー交流会を実施しました。好天に恵まれ、下諏訪町から松井さん、高橋さん、林さん、中山さん、竹元さん、樽川議長の6人。長和町からは、龍野、荻野、渡辺、羽田、森田議長の5名で計11名の皆さんでした。全員そろっての挨拶から始まり、その後は、町政の情報交換グループとスキー講習のグループに分かれての交流会となりました。

■ 町村議会広報研修会

# 住民の理解と 関心を深める 議会報に!

1月21日(火)、長野県自治会館にて「長野県町村議会広報研修会」が開催されました。講演は(一社)自治体広報研究所代表理事 金井秀樹氏「伝わる議会報の企画と編集」。

議会報が、議会活動を住民に分かり易く、透明性・適正性・公益性をもって伝えられるよう、また、地域が抱える課題解決に資するため、企画と編集の充実を求めたものでした。行政と議会と住民の信頼と協働関

の中、平日であったためか、貸し切り状態のグレンデも参加者の気持ちを更に高めてくれました。が、気持ちよく滑ったと言っても隠しよのない高齢者。足腰に疲労の蓄積は隠し切れず、昼食後には限界を自覚しケガをしない内に流れ解散となりました。若い頃覚えた技能で、今でも思いっきり滑れる幸せを満喫できた1日でした。

(報告：羽田公天議員)



「ながわまち議会だより」の表紙

会議を開催し、ご参加頂いた若い方や経験豊かな皆様からの要望や提言を基に、分かり易く伝え、関心を持って頂くようその都度改善を試み、現在に至っております。「人との繋がりを大切にし、行政と議会との連携を大切に組みんで欲しい」とのモニターの方の意見が印象に残っています。今後も開かれた議会を目指し、議会報の維持向上に努めて参ります。

(報告：龍野一幸議員)

係を構築するため  
の主要なツールで  
あり、目的とする  
等の講話でした。  
県内数町村の議  
会だよりが参考資  
料とされ、読みや  
すさ・配色・表現  
方等の解説も加わ  
り、比較参照させ  
て頂きました。  
長和町議会では  
議会だよりモニタ  
ーや議会モニター

■ 上田地域市町村議会議員研修会

# 真の地方創生には議会の役割が重要!



Sato

◇ 上田地域定住自立圏、

上田市と周辺の市町村が連携して、定住促進を目的に地域の活性化を図る取り組みで、地域医療・子育て支援・産業振興・道路整備など、住民生活に必要な事業を17分野61事業で進めています。地域の将来を見据えた持続可能な発展を目指しており、上田市、東御市、青木村、長和町、坂城町、立科町、嬭恋村が参加しています。

1月27日(月)、上田東急R Eーホテルにおいて、上田地域定住自立圏構成市町村議会議員による研修会が開催されました。

元鳥取県知事、大正大学特任教授兼地方構想研究所長片山善博氏の「真の地方創生と地方議会への期待」というテーマの講演がありました。

地方創生は国ではなく自治体・地域が本気で取り組まなければならないテーマであること、二元代表制の中で議会の持つ役割の重要性が話された。

人口減少や少子高齢化に歯止めがかからない地方における、過去10年間の地方創生を振り返り、出生率が上がり人口対策の成果が上がらなかったのは、議会の役割、施策に対するチェック機能が機能しなかったことも一因ではないか。地方議会のなり手不足や投票率の低さなど議会

をめぐる問題点を指摘しながら、これからの地方議会改革や議会の役割の重要性についてや、議会が地方創生2・0やデジタル田園都市国家構想について「本場に地域に役立つのか」チェックする重要な役割を担っていることなどを、具体的な事例や提案を踏まえて講演され、有意義な研修となった。

(報告：佐藤恵一 議員)

■ 和田宿ステーション観光農林業振興組合との懇談会

# 和田宿ステーションは大人気の道の駅!



Ogino

2月20日(木)、長和町活性化施設「蔵」において和田宿ステーション観光農林業振興組合と長和町議会議員の懇談会が開催されました。平成3年より山村振興農林漁業対策として、温泉施設やパーク全体を含めた計画が始まり、平成8年4月に農産物直売所として開設されました。令和5年9月の新和田トネルの無料化に合わせ、駐車場、トイレ、情報コーナー等を整え「道の駅和田



野菜や山菜がたくさん並びます (和田宿ステーション)

宿ステーション」として運営が始まり、施設としては特産物・農産物の直売コーナー、飲食店、道路交通情報告知、トイレ、休憩コーナー、農産物加工場を運営しています。

道の駅としての開設後、利用者は増加し、直売所の売り上げも伸びてきましたが、生産者の高齢化や出荷者の減少などの問題があります。トイレ改修も行ったが、使用者の増加に伴って基本経費の増加や悪臭の問題も顕在化しています。

今後も指定管理者として町とよく協議し「道の駅和田宿ステーション」を盛り上げるよう努力を続けていく考えであることをお聞きしました。議会としても町をアピールする大切な施設であり、積極的に運営に協力できる体制を整えたいと感じます。

(報告：荻野友一 議員)

■ 上田地域広域連合議会 2月定例会



# 医療センター へ5830万円 を補助します

◇ふるさと基金活用事業、

広域連合構成市町村の出資と県の補助による20億円の基金を活用した事業を行っています。

- ・上田医療センター医療従事者確保事業(医師・看護師・救急医療従事者確保)・・・4,330万円
- ・信州上田医療センターへ輪番病院の医療従事者派遣事業・・・1,500万円
- ・病院間連携急性期病床対策事業・・・800万円 他

2月18日(火)から2月25日(火)の会期で、上田地域広域連合議会2月定例会が開催されました。

令和7年度一般会計・特別会計予算、令和6年度一般会計・特別会計補正予算、条例案2件他について審議が行われ、全ての議案が全員賛成で可決されました。■資源循環型施設建設は大きな節目の時期を迎えており、諏訪部自治会に話し合いへの参加を呼びかけ、早期建設に取り組んでいく。

■地域医療対策については、輪番制の継続と信州上田医療センターに医療従事者を派遣する「上田スタイル」を提案した。■上田、丸子、東部クリーンセンターのゴミ搬入量は約236トン削減することができた。いずれのクリーンセンターも稼働から30年以上経過し緊急事態を想定しながら連携を強化していく。

(報告：渡辺久人議員)

■ 上田市長和町中学校組合 3月定例会

# トイレを改修して洋式温水洗浄にします

令和7年度 上田地域広域連合予算 (単位：千円)

会 計	予算額	前年比較増減
一般会計	2,529,995	9,043
ふるさと基金特別会計	134,944	9,595
介護保険特別会計	284,667	46,701
消防特別会計	3,182,729	387,459
合 計	6,132,335	453,798
長和町負担金	282,054	7,120



依田窪南部中学校卒業式

3月18日(火)、中学校組合議会定例会が開催され、令和7年度予算、令和6年度補正予算、教育委員会の委員の任命について審議を行い、すべての議案が全員賛成で可決・同意されました。(1) 令和6年度一般会計補正予算実績に伴い882万7千円を減額し、1億1295万2千円となった。(2) 令和7年度一般会計予算前年より5020万円増の総額1億7120万円となった。歳出の主なものは

令和7年度 中学校組合一般会計予算 (単位：千円)

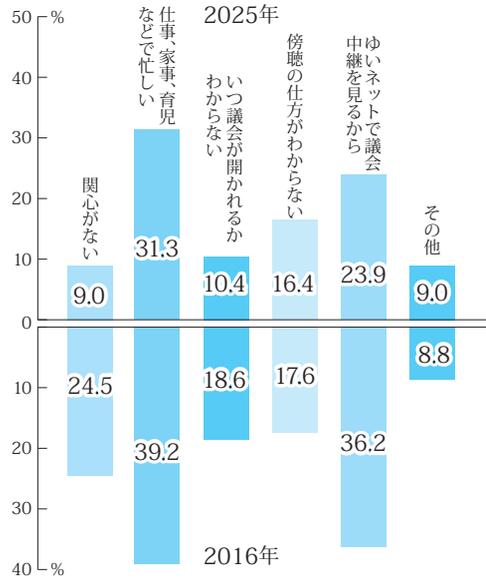
会 計	予算額	前年比較増減
議会費	224	0
総務費	1,926	658
教育費	12,658	2,636
教育総務費	142,165	48,549
中学校費	12,515	△2,145
公債費	1,712	502
予備費	171,200	50,200
合計		

学校施設整備事業経費3716万円、トイレ改修工事2525万6千円、LED照明器具整備工事398万円、トイレ改修工事委託料252万6千円等、学校管理費、普通教室棟擁壁修繕工事555万円。トイレ改修工事・LED照明工事に係る歳入として、施設整備事業基金繰入金624万6千円・教育費国庫補助金817万4千円、学校教育施設等整備事業債1810万円。(報告：田福光規議員)

**Q3-1 議会を議場で傍聴したことがありますか？**



**Q3-2 傍聴したことがないのはなぜですか？**



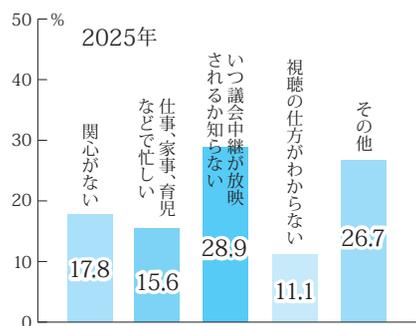
主なご意見

- ・関心に応じて議会だより等により接することができる。
- ・予め調整された原稿を読み合う出来レースの質疑応答は、傍聴する価値がない。
- ・議会だよりを熟読する。
- ・議場へ行く足がない。

**Q7-1 ゆいネットの議会中継を見ますか？**



**Q7-2 見たことがないのはなぜですか？**



主なご意見

- ・ゆいネット＝ケーブルテレビに加入していない。
- ・議会中継を放映していることを知らなかった。
- ・議会だよりを読んでいる。
- ・体裁だけで内容がない。

アンケート結果概要

議会だよりの町内の配布部数2111部に対し、89件の回答がある。

回収率は4・2%でした。ご協力ありがとうございました。以下に抜粋して概要を報告します。グラフの構成比は小数第2位

を四捨五入して表示してあり、百分率の合計が100にならないことがあります。また、グラフで示したデータに

ついては、できるだけ2016年に実施した議会改革アンケートの結果と比較して掲載しました。

# 議会改革

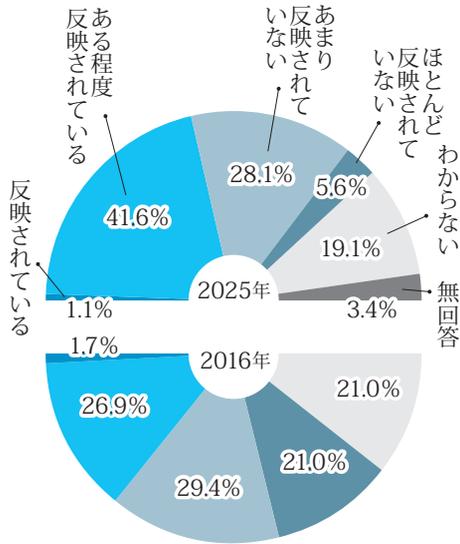
## 結果を報告します！

★「議会改革アンケート」にご協力ありがとうございました！

★長和町議会だより第44号(平成28年11月)のアンケート結果と比較して概要を報告します。すべての集計結果は議会HPに掲載します。

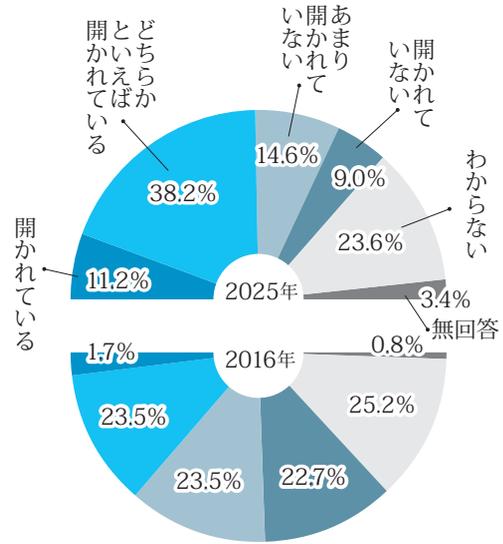
**Q11** 町民の声が、町議会から町政に反映されていると思いますか？

「ある程度反映されている」という方が14pほど増えましたが、まだ42%です。



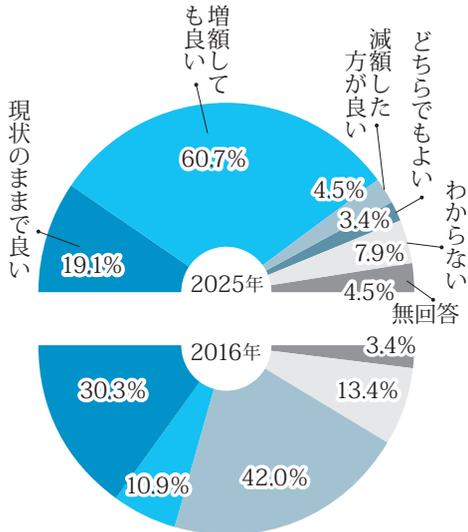
**Q9** 長和町議会は「町民に開かれた議会」であると思いますか？

「開かれている」「どちらかといえば開かれている」という方がほぼ半数になりました。



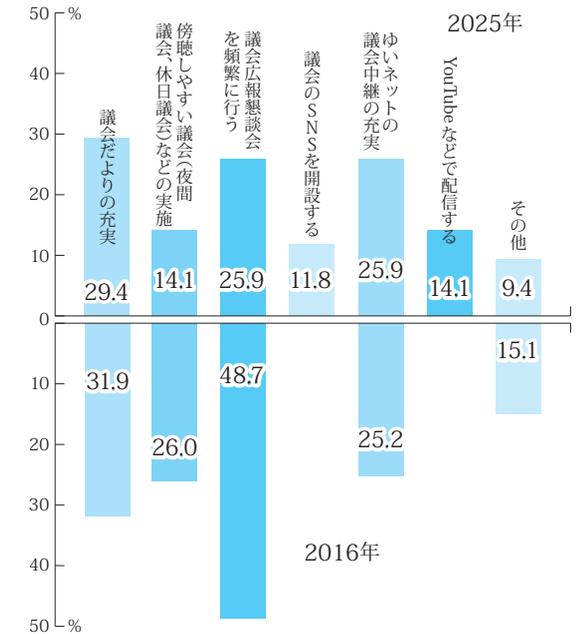
**Q12-1** 議会議員の報酬17万5千円を増額したいと考えますが、どう思いますか？

「増額しても良い」と回答した方が60%を超えました。



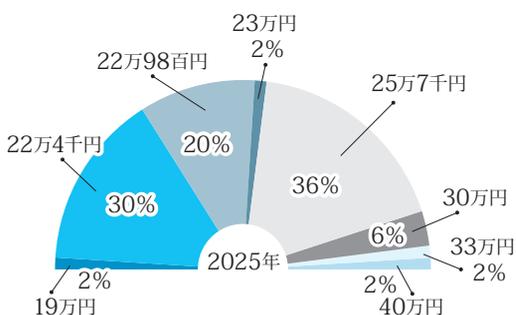
**Q10** 町民に開かれた議会にするためには、どんなことが必要ですか？

多様な手段を用いて、町民と繋がる努力が求められています。



**Q12-2** 「増額しても良い」と答えた方に、いくらが適当と考えますか？

回答の平均額は、約24万7千円です。

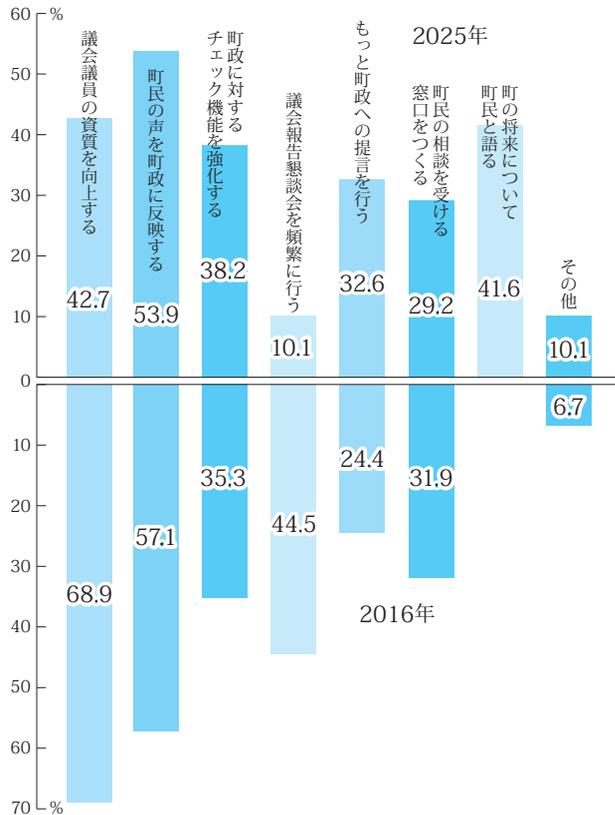


**主なご意見**

- それぞれの議員が日常的に町民と接するよう努力する。
- 町民の声を集めるような会を開催する。
- 区集会などで区民の声を聴く。
- 町民に興味を持ってもらう。
- ケーブルテレビのみの映像媒体だと閉鎖的と思われる時代です。
- もっと報酬を上げて、若者がチャレンジすべき。
- 委員会のテレビ中継を。

**Q14** 議会と議会議員に期待することはありますか？

「町民の声を町政に反映する」「町の将来について町民と語る」こと、「資質を向上することが求められています。



**Q14**

主なご意見

- ・予め調整された一般質問ではなく、ガチで町側と議論してほしい。
- ・重複した一般質問がある。議員間での話し合いの質を高めてほしい。
- ・人口が減少する中、期待していない。最低限の持続を望む。
- ・町の財政は大変厳しいと聞く。議員も実状を話すべきだ。
- ・自立できる町を真剣に議論する。
- ・1時間程度のミニ報告会形式にして、頻繁に開催すれば参加したくなると思う。
- ・働く世代は議会報告懇談会に参加できない。マイナンバーカードと紐付けたアプリで、町民の声を聴き、PDCA サイクルを回すべき。



Morita

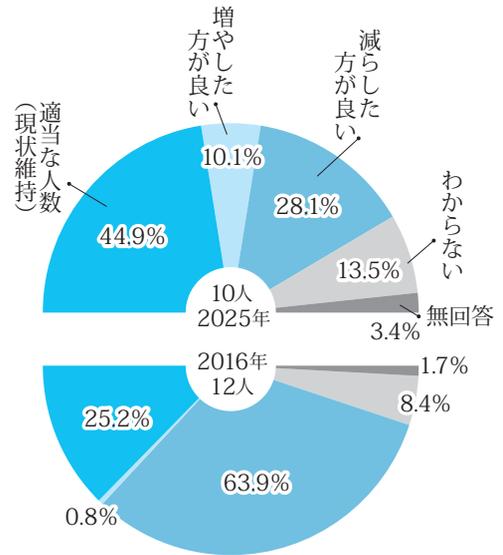
●次こそ新しい議会の役割を概説します。

■報告はHPに掲載します。



と議員の活動検証を2年に1度行います。自らの実践を再確認する良い機会になります。

**Q13** 長和町議会議員の定数は10名ですが、この人数はどう思いますか？



**Q12** **Q13**

主なご意見

- ・議員のなり手不足は、単に報酬が低いという簡単な理由では無いと思う。
- ・数字だけ見ると、確かに安い。
- ・政務活動費のようなものがあるなら、一緒に検討しなくてはいけない。
- ・報酬分の働きがあればいくらでも良い。
- ・改定するのなら、報酬審議会にしっかり諮って決めてほしい。
- ・名誉職という考え方に町の未来はない。
- ・公務員の平均年収程度が適当。
- ・長野県の最低賃金か、ボランティアで良い。
- ・議員報酬を上げるなら、その分議員数を減らすべき。人口が減っている中で、議員の数はそのままでもいいのか。

森田議長の「議会概説」(17)

●前号の「議会改革アンケート」の結果概要を掲載しました。議会改革が少しずつ結実していると感じますが、実動はまだまだかあ…。予告と違いますが「議会基本条例」について。

問 「議会・議員は何を指針に活動するの？」  
 答 地方議会は、日本国憲法第93条及び地方自治法第89条に拠ります。長和町議会は透明性の高い活発な議論を進め、開かれた議会に向け「長和町議会基本条例」を定め、議会の基本姿勢を明文化、全議員でその理念を共有し活動しています。これを受け、2年に1度、基本条例及びそれに基づく議会と議員の活動検証を2年に1度行います。自らの実践を再確認する良い機会になります。

令和7年度 第1回

# 議会報告懇談会 Workshop 開催! 小人数Gで議員と語ろう!

- 令和7年度第1回 前半は、「令和7年度長和町予算概要、議会改革と議員報酬」について、町民の皆様へ報告し、ご意見を伺います。
- 後半は、小人数グループに分かれて「長和町の未来を語り合い」たいと思います。
- 基本的に2会場とも同じ内容で開催します。予約は不要です。ご都合のよい会場へお気軽にお出かけ下さい。 **ご参加、お待ちしております。**

## 5月10日(土)

10時～ 長門町民センター  
(長久保)

14時～ 古町コミュニティ  
センター(古町)

— 町の将来について皆様と話し、政策に繋がります! —

■ いまままでのながわまち議会よりも、議会HPにあります。タブレットやPC、スマホで見ることが出来ます。



て公園として整備してきました。今では、春は桜やレンギョウが、秋にはフジバカマが咲いて、旅する蝶アサギマダラが優雅に舞う憩いの場となっています。



かつて愛宕社が祀られて田園風景が広がる綺麗な里山であった地域が放棄され荒れ放題となりました。平成21、23年頃から長久保の有志が集い、雑木を伐り桜を植え

★ 表紙写真の説明 ★  
■ 愛宕さん「桜公園」  
あたむ

# 長和町 あの人を訪ねて

— 第23回 —



ささき しゅん  
佐々木 駿さん  
(和田 原区)

## 略歴・活動

1989年千葉県生まれ。大学卒業後、映像制作会社や新聞社に勤務。その後、小さなカフェを開業。料理の傍ら作家として絵画制作にも取り組む。現在は地域おこし協力隊として立岩和紙に携わる。

広報広聴常任委員会が町民の皆様を訪れ、意見や活動をお聞きします。

**問** どうして長和町に？

**答** これまで取り組んできた絵画制作の一つに銅版画がありました。版画用紙に扱う和紙を自分で作ってみたいと考えました。

思い返せば、バッグなどの和紙製品を長く愛用していたり、和紙という素材の面白さに以前から魅力を感じていたと思います。そこでたまたま目にしたのが立岩和紙の伝承に取り組む協力隊の募集記事。立岩和紙。調べてもよく分からず、直接足を運ぶもの、お蕎麦屋さん？販売されているのかも誰が作って

いるのかもわからない、そんな状況を目の当たりにしました。実態をつかめないのに募集があることに好奇心を抱き、2022年冬に移住。和紙をテーマに新たな日々が始まりました。

**問** どんな仕事を？

**答** 立岩和紙の伝承や発信活動を軸に、紙漉きについては、原料作りから工程の明確化・記録作成、技術の向上に努めています。また、楮とちの収量確保につながる取り組みや、老朽化した備品の調達・情報収集、和紙作品の展示を通じた魅力発信など、

和紙にまつわるさまざまな動きをしています。

**問** 和紙作りで大切にしていることは？

**答** 常に現状を客観的に分析・把握して未来につなげるための視点を持ち、なにより和紙の可能性を信じていることを大切に組み組んでいます。立岩和紙は障子紙という認識が強くあるように感じますが、今その色合い

はほとんど残っていません。歴史と伝統を一緒に捉えることで可能性を閉ざしているように感じます。300年の歴史という文言を謳おうと誰が見ても現状は見抜かれますので、幾度と途絶えてきた歴史を真摯に受け止めるほかありません。伝統は進化の延長にあり、伝承は継続する人の意思で繋がれていくものだと思います。それでも紙漉きという素晴らしい文化が残っていることはこの町にとっての財産です。その財産をつないできた多くの方に感謝し、今の時代、そしてその先の景色に向けて取り組んでいきます。

## 長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の思いなどを掲載します。第78号は、**渡辺久人**議員です。



▼3月定例会が終わりホッとする間もなく議会だよりの原稿と自身の活動報告を書いています。▼世界各地で大きな山火事が発生しています。地球の温暖化や山環境の悪化などが

拡大の原因と考えられます。長和町は森林法で全域たき火が禁止されています。但し町の火入れに関する条例で許可を受けた場合はその限りではありません。**火の用心!**▼10年間行ってきた地方創生は、国も町も結果が出ずに、次期「デジタル田園都市国家構想戦略」に進みます。計画策定に当たり住民アンケートが行われましたが、具体的施策にアンケートの要望は取り入れられたのか？パブリックコメントは考慮されたのか？町独自の施策を行います。

## ながわまち 議会だより

広報広聴常任委員会

- 委員長 羽田 公夫
- 委員 龍野 一幸
- 佐藤 恵一
- 田福 光規
- 渡辺 久人
- 編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp